



地球

2006年夏号

男女が共に生きる情報紙 VOL.69



再スタート！ 再チャレンジ！

新緑の美しい季節。衣替えの季節です。

今まで着ていた上着を脱いで、身軽な格好で外に飛び出してみませんか？

ちょっと勇気があるけれど、「エイ！」と思い切って扉を開けると、

そこにはきっと素敵な風景と、出会いが待っているはずです。

もくじ

- 自分を雇うために自分で職場をつくりました
- キャリアチャレンジは、『いつでも、どこでも、だれでも』
- 夫の死を乗り越えて
- 弘道おにいさんの素敵な再スタート！
- インフォメーション

👑 自分を雇うために自分で仕事場をつくりました

「夢のある子ども部屋づくり」をコンセプトに、子ども
の家具やインテリアグッズなどを販売している上島幸子
さん。現実の店舗ではなく、インターネット上にあるオン
ラインショップで商品を紹介し、お客さんからの注文や
問い合わせを受け付けている。「有限会社キッドファン」を立
ち上げたのは、5年前の2001年。おしゃれなデザインと高品
質な商品が人気を呼び、売り上げも少しずつ伸びてきた。経
験ゼロからどうやって事業を軌道にのせたのか、上島さんにお
話をうかがった。



離婚が再スタートの原動力に

「日本には子ども用のかわいい家具がない。なぜだろ
う」と、上島さんが漠然と感じていたのは10年ほど前の
こと。結婚を期にフルタイムの仕事を辞め、専業主婦と
して過ごしていた頃だ。

「そのときは、起業しようなんていう気持ちはありません
でしたが、働きたいという思いはありました。でも希望
するようなところでは雇ってもらえなくて。いったん辞
めてしまうと、なかなか戻れないことを痛感しました」

悶々と日々を過ごすうち、上島さんは「自分を雇うた
めの仕事場を自分でつくろう」と動き始める。離婚とい
う人生の転機も再スタートする原動力となった。頭のな
かにあったのは、まだ誰も手がけていなかった子ども用
の輸入家具だ。まずは知識を得るために“修行”しようと、
履歴書をもって東京中の家具屋を回ったが断られた。最



後に訪ねた会社
で営業事務とし
て採用が決まる。
片道1時間半か
かる通勤を続け
て約1年半、そこ
で学べることは
すべて学んだ。

「働きながら、WWB*1 (Women's World Banking—
女性のための世界銀行) 日本支部の起業スクールにも
通い、勉強しました。ここの講座を受けたことが、一歩を
踏み出すきっかけになりましたね」

まずは行動すること

準備も整い、2001年3月に有限会社を設立。資金は
預金や満期になった生命保険など、手持ちのお金をかき
集めた。同年の12月に電子モール(インターネット上の
仮想の商店街)に出店し、試行錯誤を経て半年、ヒット商
品も生まれ事業は軌道にのり始めた。ネット上の店舗だ
から、パソコンがあれば自宅でも仕事ができる。苦しい
台所事情には好都合だった。とはいうものの、ホームペ
ージの作り方が集客数を左右し、お客さんとのやりとりも、
電子メールだけに言葉遣い一つにも気をつかう。

「意外に手間がかかるんですよ。でもその手間をかけな
いと、売り上げも伸びていきません。私一人では仕事も
こなせなくなってきました」

自宅で仕事をする限界を感じた上島さんは、2年前に
湘南インキュベートルーム*2に事務所を借りた。現在は
アルバイトも雇い、さらなる飛躍を模索している。
「いかにアイデアを実現するか。まずは行動するしか
ないですね」

最初の一步を勇気をもって踏み出せば、きっと何かが
起きて何かが生まれる……。上島さんのお話をうかがっ
てそう感じた。

(松永 記)

(*1) WWBは、国連と世界銀行のバックアップによって
つくられた世界中に広がる組織で、女性の起業を
支援する活動を行っている。

(*2) (財) 藤沢市産業振興財団が運営する湘南インク
ュベートルームでは、創業直後、もしくはこれから起
業する起業家に安価な貸室を提供している。
お金がない時期に固定費が安くあがるメリットがある。
また、創業時の問題を解決してくれるIM(インキュベ
ーション・マネジャー)がいる。

👑 キャリアチャレンジは、『いつでも、どこでも、だれでも』

昨年9月に発足した就職・再就職などについての相談・カウンセリングを行うかながわ女性キャリア支援センター（以下、支援センター）が、今年5月に神奈川県とNPO団体の協働（対等に協力・取り組む）事業として新体制で再スタートした。県立かながわ女性センター副館長 関 真理さんに特に女性の再チャレンジ（再就業等）という観点から、支援センターについてお話をうかがった。

キャリア支援って何？

厚生労働省の調査によると、働いている女性の約3分の2が出産、育児を理由に退職している。では、出産、育児の時期を専業主婦として過ごした女性が、うまく仕事に復帰するためには、どうすればいいのだろうか。そもそも、キャリアとは、何なのだろうか。

「専業主婦は、仕事をしていないので、キャリアが無いと考えてしまいがちですが、最近では、生涯に行ったことすべてがキャリアであるという考え方が、主流となりつ

つあります」

専業主婦も立派なキャリアと考えられることになる。

「確かに仕事上のキャリアは、不足していますが、講習会や、スキルアップ講座などで、不足している分は、補えばいいのです」

関さんは笑顔で語った。

「もっと、気軽に支援センターを利用してもらいたいのです。まず、電話をしてください。その上で、相談・個別カウンセリングを行いながら、再就職や起業などに向けて色々な方法を一緒に模索していきましょう。方向性が見つかるまで、お手伝いをさせていただきます。必要な場合は就業関係機関につなげる仕組みもできています。再就職の方だけでなく、これから就職する若い人にもどんどん利用してほしいと思います」

ベテランの相談員の方に相談室を案内していただいた。

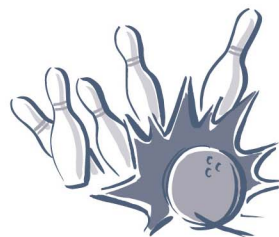


👑 夫の死を乗り越えて

「再出発」……あなたにはどのようにこの言葉が響きますか。年代や事情によりいろいろだと思いますが、例えば最愛の伴侶に先立たれた人にとっての新たな出発は如何ばかりのものなのでしょう。未経験の私にとって論ずる資格などないかも知れないと自問自答しながら書いています。しかし、その時点での身の処し方といいますか生活の建て直しはその場に立たされてから、いきなり備えることは難しいこともあるのではと思います。まして毎年約40万人を超える人たちが配偶者を失っており、配偶者を失うことは決して稀なできごとではないとすれば、その場に遭遇する前に考えて備えておくことも意味のあることだと思いました。

私のボーリング仲間に70代始めの女性でNさんとい

う方がいます。小田急線で3駅強の道のりを20年以上使用の愛車である自転車に乗ってやってきます。つい先日も180のスコアを出したばかり。楚々とした



品のよい普段の彼女からこのスコアを想像するのはチョッと難しいかもしれません。毎週卓球の練習とボーリングは殆ど欠かしたことがないそうです。ボーリングの開始時刻は午後1時半からで、遅い朝食をとったりする私は昼食をとらないで出かけたりしますが、彼女は朝・昼食をきちんととってから毎回参加しています。携帯でスケジュール管理まで使いこなし、時々ボーリングを休む時は、仲間との温泉の旅も楽しまれているご様子。

「同行者は杖をついたり、電車の切符を買うのもおぼつかない人たちよ」

と、彼女は自分よりチョッピリ若い我々ボーリング仲間との交流が楽しいと言ってくれます。

落ち着いた雰囲気の家だった。

再チャレンジのために何が大切？

最初に自分の立場を見つめ直すことが大切、自分を理解することが、再チャレンジへの出発点だと、関さんは言う。さらに、「江ノ島に来るのを大変……、遠い……、と思わないでください。家、家族から、自分を切り離して考えるのに、ちょうどよい距離、江ノ島は、そういう意味では、本当にいい場所だと思うのです」とのこと。

必要なら、無料の子ども(支援センターを利用する場合、満1歳以上就学未満)一時預りもある。大きく開放的な窓のある託児ルームでは、保育士さんたちが、やわらかい笑顔で子どもたちを見守っていた。

自分を自分らしく生きるために

県立かながわ女性センターの調査研究報告書によると、昨年度、支援センターを利用したのは、30代、40代の人を中心だったが、50代以上の利用も多かった。「再チャレンジをするにあたって、あまり、年齢にはとらわれないことです。年齢は、自分で引いている境界線み

ある日、「自分が介護を受けてもよい年齢なのだから、恥ずかしいから内緒ね」と言って知人から依頼されてやっているというボランティアの話をしてくれました。その内容は90代の方の食事などの介護に週1回、電車を乗り継いで行っているというものでした。知人が依頼してくるといことは信頼される条件が彼女に備わっているからなのだと思います。

そんな彼女が一昨年の11月に未亡人になっていたとわかったのは、つい最近のことでした。「子どもより夫が大事」という信条で生活してこられたほど彼女は夫を愛されていました。家事はすべて自分一人でこなす夫には一切何もさせなかったそうです。夫が「しなかった」というのは違うのですね。私にはひとりで何でもこなすなんて考えられませんが……。



たいなものですよ。まず、仕事社会に飛び込んでみて、そこから方向性が見えてくるものなのです」

専業主婦をしている私へのアドバイスもさりげなくいただいた。

自分らしく生きるとは、ささやかであっても、自分の目標や夢を持つこと。年齢であきらめるものでも、他人がどう思うかでもない。夢を描き、それを実現していくことこそ大切なのだ、という関さんのお話は、ずっしりと胸に響いた。インタビューを終えて駅に向かう帰り道、不意にすがすがしい海風を感じた。

(川辺 記)

かながわ女性キャリア支援センター
(県立かながわ女性センター内)

毎週火～土曜日
(休館日除く)
TEL:0466-29-0132
FAX:0466-25-6499
所在地:藤沢市江の島
1-11-1

神奈川県立
かながわ女性センター
TEL:0466-27-2111(代)

夫の死後、役所や銀行はじめその他の諸手続きは想像を超えてたくさんあったそうですが、子どもたちには仕事があるのだと思いやり、例の愛車にまたがり、涙をこらえて一人走り抜いたそうです。このようにかいかいしく生活をしてこられたので彼女は今も家庭内の細々とした雑事をきちんとこなせるのではないのでしょうか。

配偶者との別離から立ち直りが遅い原因として次のようなことを聞いたことがあります。

- ① 家庭内の役割がない
- ② 友人がいない
- ③ 趣味がない
- ④ ほとんど運動しない
- ⑤ 眠れないことが多い
- ⑥ 食事が不規則

彼女にはこれらのことがあてはまらないことに気付き、私もささやかながら少しでも彼女に近づけたらと密かに目標にしています。

(井戸 記)

👑 弘道おにいさんの素敵な再スタート!

5月27日土曜日。善行にある神奈川県立体育センターは大きな笑い声と、とびきりの笑顔でいっぱいだった。今日集まったのは、500組の親子連れ。そして、その中心にいるのは「弘道おにいさん」こと佐藤弘道さんだ。

県主催「かながわ人づくりフォーラム」の一環として開かれた「弘道おにいさんと親子体操で子育てを考えよう」。このイベントは抽選で選ばれた親子だけが参加できる、夢のような機会だ。それはもちろん、私たち親子にとっても! 返信用の参加はがきが送られてきてから、どれだけこの日を待ち望んできたことかわからない。開始時刻前から集合した私たちは、今か今かと佐藤さんの登場を待っていた。みんなでどきどき、ソワソワしながら。

そして、ついに弘道おにいさんが登場! 赤いジャージに白いTシャツ! さわやかな笑顔を振りまきながら手を振って現れる。「ワア!」歓声があがった。テレビで見るおにいさんと本当に同じだ~(当たり前か)!

「(元気よく)おはよー! みんな元気ですか? それじゃあみんな体操をしていきましょう! さあ、立って~!」

1つずつ体操を教えていってくれる佐藤さん。時には親子で向かい合って、抱っこして、くるくる回って。カエルになったり、コアラになったり、ヘビになったり……。たくさんたくさん身体を動かしていく。ちょっと難しい動きや、速い動きになると、一斉に笑い声が湧き上がる。本当に楽しそうな子どもたち。気づくと自然に身体から汗が吹き出ている。

「はい! 今やった動きは三半規管を強くする動きなんですよ。だからこの体操を続けていたら車酔いしにくい子になれますからねー」

「この体操は手足の力を強くするんです。だから、公園



の遊具からも落下しにくい子どもになれます。お家でもやってみてください」

なるほど!
楽しいリズム体操の一つひとつ

にも、実は深く深い意味があって、全て子どもたちのために思って考えられているのだ。そこからは佐藤さんの並々ならぬ子どもへの愛情を感じ取れた。何より、親子と一緒に体操をすると、大人の私たちでさえ、本当に楽しい。身体をいっぱい動かすこと、親子のスキンシップの大切さを身を持って佐藤さんは教えてくれているのだ。

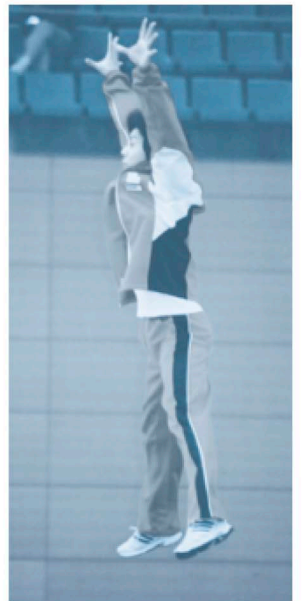
「おかあさんといっしょ」の体操のおにいさんとして12年間も毎日子どもたちと共に体操をしてきた佐藤さん。しかし一日とて同じ内容の収録はなかった、と自身の著書「子どもはぜんぜん、悪くない」(講談社)の中で語っている。毎日がハプニングの連続で、子どもが大好きな自分には常に勉強の連続だった、と。番組に関わり始めて3~4年頃、自分に行き詰まり、一度だけ番組をやめたい、と家族の前で泣いてしまったことがあるそうだが、「やめるのは簡単。続けることが大事よ」という妻の言葉に目を覚まし、卒業まで全力投球で番組に取り組んできた。

番組卒業後、佐藤さんは「体育大学生→スポーツ教室の先生→体操のおにいさん」というこれまでの全ての経験を活かしきって体当たりで子どもたちと、子どもを取り巻く環境に向かい合っている。子どもと環境を守る団体「PHENIX」への参加、障害を持つ子どもたちの体育教室、保育専門の教育機関の講師など、日々精力的に活動している。まさに最高の再スタートを切っていると言えるだろう。その姿を見ていると、なんだか私たち母親までもが勇気づけられる。佐藤さんは人生に無駄のないことを、しっかりと私たちに示してくれているのだ。

「僕の仕事は、子どもと向き合うことです」。

そう語る佐藤さん。こんなに幸せなイベントに参加させてもらったこと、何より弘道おにいさんに出会えたことに親子ともども、心から感謝をした一日だった。

(中村 記)



◎男女共同参画課からのお知らせ

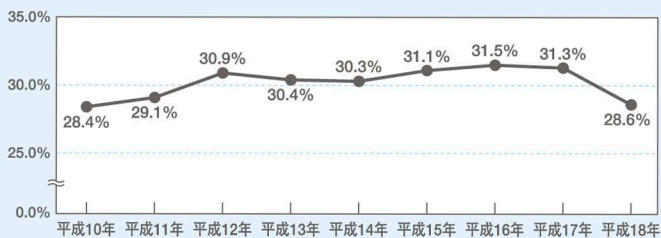
* 審議会等における女性の登用状況 *

藤沢市では、共に生きる社会の形成に向け、男性も女性も対等な立場で政策の方針決定過程に参画できるよう、審議会等委員への女性登用を進めています。

平成18年4月1日現在の登用率は下表のとおりです。

登用率40%達成に向け、全庁ぐるみで取り組んでいます。

	審議会等の数	総委員数	女性委員数	比率
平成18年度(H18.4.1現在)	56	689人	197人	28.6%



「ふじさわ男女共同参画プラン2010」改定しました!

この度、2006年3月「ふじさわ男女共同参画プラン2010」を改定しました。

プランの内容をご理解いただけるよう、プランの有償頒布を一部 1,000円で、情報管理課、文書館にて行っています。また、男女共同参画課のHPより、PDFファイルでの閲覧も可能です。



◎労働会館の講座

問合せ・申込み: ☎ 26-7811

就職支援セミナー

- 内 容: 就職のプロセス、適職選択、応募書類の書き方、面接対策ほか。
- 日 時: 8/1(火)、9/5(火)
 - ①正社員希望者対象……………13:00~17:00
 - ②パート・アルバイト希望者対象……………10:00~12:00
- 対 象: 市内在住または在勤で就職・転職を希望する方、各36人
- 申込み: 広報ふじさわ各月10日号に掲載

就職支援個別カウンセリング

- 内 容: 就労に向けた相談に個別にアドバイスします。
- 日 時: 8/3、10、17、31、9/7、14、21、28(全木曜日) 10:00~16:45(但し、毎月最終日は13:00~18:45まで)
- 対 象: 市内在住または在勤で就職・転職を希望する方、各5人
- 申込み: 広報ふじさわ各月10日号に掲載

◎公民館の主な催し

問合せ・申込みは片瀬公民館へ: ☎ 27-2711

ふれあいルームコンサート

- 内 容: マンドリンとギターによるコンサート
- 日 時: 8/5(土) 15:00~16:30頃
- 対 象: どなたでも
- 申込み: 当日来館

最新ソフトを使って3Dアニメを作ろう

- 内 容: 最新ソフトを使っての3Dアニメを制作
- 日 時: 8/11(金) 10:00~17:00
- 対 象: 市内在住または在学の中・高校生20人
- 申込み: 7/18(火) 8:30~ 電話または来館で

デジタル映画制作

- 内 容: 撮影から編集までを行います
- 日 時: 8/23(水)・24(木)の全2回 10:00~16:00
- 対 象: 市内在住または在学の中・高校生12人
- 申込み: 7/18(火) 8:30~ 電話または来館で

かがやけ地球は市民の編集員さんの企画・運営によって、年4回発行しています。

編集スタッフ:井戸君江・川辺裕子・中村博子・松永美佐寿

湘南が好き 地球が大好き



ふれあいのひろば

フジサワ名店ビル

☎0120-111-391 ☎23-0111(代)

<http://www.fujisawa-meiten.com>

inamotoya.com



アクティブミセスからシニアまでの
快適生活をサポートする

ユニバーサルファッション・ショップ

オシャレで、着心地の良い服を
豊富に取り揃え、
皆様のご来店お待ちしております。

日経流通新聞、暮らしの手帖、
テレビ朝日などの掲載店

藤沢さいか屋2F・JR藤沢駅北口すぐ TEL&FAX 0466-22-3109

藤沢・茅ヶ崎・寒川 “湘南”がエリアのFM放送局



<http://www.radioshonan.co.jp>

STUDIO FAX No.0466-29-2121